

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年 8月 20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 企業・団体名 | 北陸ポートサービス株式会社 |
| 所在地 | 〒931-8355 富山県富山市東岩瀬新川町 380 |
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役 加治 幸大 |
| 担当者連絡先 | 電話：0766-86-3377 |
| | メール：akio_takeuchi@h-port-s.com |
| ウェブサイトURL | https://h-port-s.com |

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

| |
|--|
| <p>港内の船舶清掃業からスタートした当社は、港湾に荷揚げされた積荷を各地に送るための運搬業により発展してきました。時代の変化に合わせて取り扱う荷の種類は変わりましたが、常に港とともにある「輸送のエキスパート」企業として環日本海対外諸国との貿易に不可欠な港での運送に関わる業務を行っています。</p> <p>近年は県内の公園・街路樹の剪定枝・刈草や製材業から出る木材の廃樹皮、飲料・生薬かすなど産業活動から発生する副産物を土や堆肥にして有効活用したり、森林資源である未利用間伐材を燃料資源に加工し、それを有効利用する木質バイオマス発電所も運営しております。</p> |
|--|

| 3側面 | SDGs 達成に向けた重点的な取組 | 2030年に向けた指標 |
|-------------------|--------------------|---|
| ✓環境 □社会 □経済 | 温室効果ガス排出量の削減 | 二酸化炭素排出量 前年+5%以内 |
| □環境 ✓社会 ✓経済 | DX化推進による生産性向上 | ・業務資料をできる限り共有化 ・連絡伝達事項をより正確でスピーディに 以上に取組み生産性向上を図る |
| □環境 ✓社会 □経済 | 地域資源をより有効に活用し地域に貢献 | 地域資源の循環を更に強化し、その大切さを浸透させ意識の高いまちづくりに貢献 |

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

| カテゴリー | チェック項目 | 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 人権・労働 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | ・雇用、昇進、人事、福利厚生など、あらゆる面で差別しないよう社員に浸透させ、経営者が積極的に関与している。 ・SDGS推進室を設け相談や改善を担当し積極的に取組む。 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | 16.1 16.2 16.7 | |
| | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | ・ハラスメントをの認識を高めるための教育を行い、経営者が積極的に関与している。 ・SDGS推進室を設け相談や改善を担当し積極的に取組む。 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | 16.1 | |
| | 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる | ・労働基準法の改正内容を経営陣が理解し運用を進める。 ・業務が集中し時間外の労働が必要となった場合、計画的に具体的にしてから進める。 | | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | | |
| | 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している | ・雇用、昇進、人事、福利厚生など、あらゆる面で差別や人権侵害のないよう社員に浸透させ、経営者が積極的に関与している。 ・SDGS推進室を設け相談や改善を担当し積極的に取組む。 | | | | 4.4 | | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | ・毎月、社員が集まり労働安全講習会を実施し周知徹底を図っている。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる | ・メンタルヘルスキアの重要性を認識し、経営者が積極的に関与している。 ・SDGS推進室を設け相談や改善を担当し積極的に取組む。 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる | ・多様な人材が活躍できるよう労働条件を柔軟に対応。 ・SDGS推進室を設け相談や改善を担当し積極的に取組む。 | | | | | 5.1 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | ・職務や役職に応じた外部研修を積極的に促す。 ・興味のある資格や特技に対する技術認定など積極的に申し受ける。 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | ・同一労働、同一賃金の原則を意識した規定と運用を行う。 | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる | ・健康経営優良法人認定を目指しできる項目から取組む。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 環境 | 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる | ・廃棄木材を受け入れ燃料チップや堆肥としてリサイクルに取組む。 間伐未利用材については加工して燃料とし発電、二酸化炭素排出係数ゼロの再生可能エネルギーとする。 ・「エコアクション21」の認定を受け、積極的に3Rの推進に取組む。 | | | | | | | | | | 11.6 | 12.4 12.5 | | 14.1 | | | | |
| | 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | ・事業所設備で使用する電力は、二酸化炭素排出係数ゼロの再生可能エネルギーを使用することで、省エネ意識を高め、エネルギー利用の効率化に務める。 | | | | | | | | 7.3 | | | | 13 | | | | | |

| カテゴリー | チェック項目 | 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 | 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている | ・事業所設備で使用する電力は、二酸化炭素排出係数ゼロの再生可能エネルギーを使用。 ・空調設備等適正な設定を心掛け電気使用量を削減。 ・アイドリングストップ等、エコドライブの実施や車両整備により排ガス抑制を図る。 ・「エコアクション21」の認定項目にある二酸化炭素排出量削減に向け年度の目標値を定め達成状況の検証を行っている。 | | | | | | | | 7.2 7.3 | | | 12.4 | 13.3 | | | | | |
| | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | ・各工程や使用設備における有害化学物質発生リスクを把握し、必要に応じ測定し管理を行う。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | |
| | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | ・森林の維持管理に出る間伐材や廃棄材を回収して発電用燃料として有効に活用しており、森林を守るだけでなく川や海を守ることに繋がる。 | | | | | | 6.6 | | | | | | | | 15 | | | |
| | 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる | ・工業用水の使用量削減に向け年度の目標値を定め達成状況の検証を行っている。 | | | | | | 6.4 6.6 | | | | | | | | | | | |
| | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している | ・「エコアクション21」の認定を受け、PDCAサイクルを回し常に改善に努める。 | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | | |
| | 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | ・「エコアクション21」事務局に「環境経営レポート」を提示し、当ホームページにて閲覧できる様、公開している。 | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | | |
| | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | ・木くず、刈草、刈枝を堆肥化して培養土として製品化。 ・間伐材、未利用材、流木を木チップとして燃料化、これを利用しグループ会社にて発電。 | | | | | | | 7.2 | | | | | 13 | | | | | |
| | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | ・森林の間伐材や未利用材を利用し燃料とする。 | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | | |
| 製品・サービス | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | ・製品とする培養土は、ロット毎に種苗育成検査を行うと同時に、成分検査も行い安全性を含めた品質の確認を行っている。 ・高速道路工事等の法面に吹き付ける緑化基盤材向けや燃料チップ材への加工の際、チップのサイズの均等化や金属等不燃物混入が無いよう、チェック工程を織込む。 | | | 3.9 | | | | | | | | 12.4 | | | | | | |
| | 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | ・港湾で発生する廃棄物をスムーズに処理できるよう、港からのアクセスを考慮し受け入れ体制を整えている。 ・高速道路工事等の法面に吹き付ける緑化基盤材向けや燃料チップ材への加工の際、チップのサイズの均等化や金属等不燃物混入が無いよう、チェック工程を織込む。 | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | ・エコマークを取得できる商品の開発に積極的に取り組む。 ・製品とする培養土を使って実際に有機農法により農作物を育て、製品の実証確認を行いながら、農作物を収穫・出荷したり、加工食品の材料とし新たな商品としての販売を試みている。 | | | | | | 6 | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | | |
| | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | 【予定】・SDGs達成への課題解決に貢献しようと、製品とする培養土を使った農園を一般開放し実際に収穫した野菜等を食べたり加工食品の食材として使うカフェ、ショップ併設のファクトリーを建設する計画を検討中。この施設を幅広くSDGsを実感でき意識を高める場とする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 社会貢献 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | ・地域で発生する廃棄物の処理に対応する。 ・資源循環の大切さを地域に伝えるためのイベント活動等を企画したり積極的に参加する。 ・射水ベイエリアのまちづくりに積極的に参加。 | | | | 4 | | | | | 9 | 11 | 12 | 14 | 15 | | 17 | | |

| カテゴリ | チェック項目 | 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 | 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | ・美しい富山湾クラブに加盟し、定期的に海岸の清掃活動や海の安全教室などを企画・参加する。 | | | | 4 | | | | | | 11 | | | 14 | 15 | | 17 | |
| 27 | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している | ・地域で発生する廃棄物を受入れ堆肥化して培養土として製品化。 ・森林の間伐材、未利用材、流木をチップとして燃料化、これを利用しグループ会社にて発電。 | | | | | | | | 8 | 9 | 11 | 12 | 13 | | | | | |
| 28 | 【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している | ・「エコアクション21」の認定を受け、環境理念や目標を明確にし開示している。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | 17 | |
| 29 | 【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している | ・定例会議では、常にコンプライアンスの重要性を確認し合うなど、遵守浸透への配慮を常に意識している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 30 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | ・SDGS推進室を設け対応を担当し、経営者も大切さを意識し積極的に取組む。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 31 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | ・連携企業や地域の一般の方々とのイベント活動の企画や積極的な参加することにより対話の大切さを意識して対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 | |
| 32 | 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | ・SDGS推進室を設け対応を担当し、組織の中にそれぞれ特定したリスクに対する対応を明確にしている。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 33 | 【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる | ・SDGS推進室を設け対応を担当し、経営者も大切さを意識し積極的に取組む。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 34 | 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | ・日ごろから緊急連絡先を明確にし、事故や災害の具体的事象ごとに対応担当者やその対応方法を具体的に整備されている。 | | | | | | | | | | 9 | 11 | 13.1 | | | 16 | | |
| 35 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | ・【予定】 知的資産等を見える化し、中長期計画をできる限り具体的にまとめる。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | 17 | |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。